

# 平成30年度香川大学グローバル人材育成特定基金事業

## ＜募 集 要 項＞

### I 目的

この事業は、香川大学国際交流資金事業実施細則に基づき、資金の果実等を運用することにより、本学における国際交流の一層の推進を図ることを目的としています。

### II 援助対象事業

援助対象事業は次のとおりとし交付された年度内に実施します。各事業の細目は1～3のとおりです。

#### 1. 外国人留学生奨学援助事業

外国人留学生の本学への円滑な受入れ及び外国人留学生の本学入学後の学習効果の向上に資するため、経済的な援助を必要とすると認められる者に対し奨学金の支給を行う事業

#### 2. 外国へ留学する学生援助事業

本学と外国の大学等との合意に基づき、その外国の大学等（語学学校は除く）へ留学する学生に対し奨学金の支給等を行う事業

#### 3. その他国際交流援助事業

##### 1) 本学学生の外国における学会発表・調査研究援助事業

外国において、優れた研究の学会発表・調査研究等をする本学学生に対し奨学金の支給を行う事業

### III 応募資格

本学の学生。

当該部局等の教員が推薦、申請するものとします。

ただし、「1. 1) 外国人留学生奨学援助事業（A）」については、学生本人が申請し、指導教員の所見と併せて申請するものとします。

また、「2 外国へ留学する学生援助事業」については、本資金により平成26年度、27年度、28年度に援助を受けた者は、当該事業への応募資格はありません。

### IV 応募方法

応募者は、援助対象事業ごとに所定の申請書及び必要な添付書類等を作成し、所属部局長等を通じて学長に提出してください。その際、書類は白黒とし、添付書類は簡潔に数枚にまとめてください。

なお、申請にあたっては変更の必要のないよう綿密な計画をたててください。

### V 募集期間

#### 1. 外国人留学生奨学援助事業

(A) 平成30年3月12日(月)～平成30年4月12日(木)

(B) 平成30年1月4日(木)～平成30年1月15日(月)

(C) 1月期 平成30年1月4日(木)～平成30年1月15日(月)

7月期 平成30年7月2日(月)～平成30年7月13日(金)

(D) 別途通知

## 2. 外国へ留学する学生援助事業

(A) 1月期 平成30年1月9日(火)～平成30年1月19日(金)

5月期 平成30年5月1日(火)～平成30年5月15日(火)

(B) 上記(A) 1月期に同じ

## 3. その他国際交流援助事業

平成30年5月25日(金)～平成30年6月8日(金)

## VI 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において、書類選考並びに必要なに応じて面接等を行い決定します。場合により、追加資料の提出を求められることがあります。

選考は提出された計画に基づいて行われます。採択後に計画変更が生じることのないよう充分ご留意願います。

本援助事業に対しては、原則として他の基金等から重複しての受給は認められません。重複して採択された場合は、いずれかを辞退願います。

## VII 報告

援助事業に採択された場合は、事業終了後、1ヶ月以内に所定の事業実施報告書及び経費支出報告書を作成し、所属部局長等から副学長（国際戦略・特命担当）を通じて学長に提出してください。3月に終了する事業については3月31日までに必ず提出してください。

なお、報告書は、適宜、公表します。また、実施報告会で報告してもらうことがあります。

## VIII 事業計画の変更について

採択後にやむを得ず事業計画変更等の必要が生じた場合は、原則として事業実施の1ヶ月前までに所属部局長等を通じて学長に提出して了承を得てください。変更事由等によっては認められない場合もあります。

なお、事業計画変更の了承をとらずに、変更して実施した場合は、支給金額を返還して頂きます。（本人の責によらないものを除く）

## IX その他

部局等に配分された予算の採択者への支払は、各部局の判断により適切な時期に行ってください。

## 1. 外国人留学生奨学援助事業

### 1) 外国人留学生奨学援助事業 (A)

#### (1) 対象及び条件

平成30年4月以降、本学に在学する正規の私費外国人留学生（愛媛大学大学院連合農学研究科を含む）で、部局長等が推薦し、学業・人物等に優れ、学費の支弁上経済的な援助を要すると認められる者としてします。修業年度を超えて在籍するものは対象外とします。

ただし、外国政府派遣留学生及び香川県招致留学生並びに平成30年4月以降他の団体から、1年以上継続して月額2万円以上の奨学金等を受けることが決定している者は除きます。

また、本基金の外国人留学生奨学援助事業（B）との併給は認めません。

(2) 支給額 月額25,000円以内

(3) 支給期間 平成30年4月から平成31年3月までの1年間

(4) 募集人員 7人程度

(5) 募集期間 平成30年3月12日（月）～平成30年4月12日（木）

#### (6) 申請書等

- ①平成30年度香川大学グローバル人材育成特定基金事業（外国人留学生奨学援助事業（A））及び私費外国人留学生対象民間奨学金等申請書（様式1）
- ②指導教員の所見（厳封されたもののみ有効）

#### (7) 選考方法

私費外国人留学生対象民間奨学金等奨学生の選考と合わせて行います。

書類選考を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

#### (8) 報告書

本援助事業を受給した者は、受給期間終了後1ヶ月以内に実施報告書（様式6-2）を作成し、所属部局長等から学長に提出してください。3月に終了する事業については3月31日までに必ず提出してください。

#### (9) その他

- ①毎月、部局窓口で在籍確認簿（様式6-1）に署名をしたうえで、奨学金の支給を受けること。ただし、母国に帰国中等で当該月内に在籍確認がとれない場合は、当該月の奨学金は支給しません。
- ②奨学金支給期間中に、下記の一に該当する場合は、翌月以降の奨学金は支給しません。
  - (ア) 本学の学生としての身分を失った場合
  - (イ) 病気その他の理由により、修学又は研究を継続する見込みのない場合
  - (ウ) 他の団体から1年以上継続する月額2万円以上の奨学金等を受けることが決定した場合
  - (エ) その他本奨学金を受給する者として不適格と認められた場合

## 2) 外国人留学生奨学援助事業 (B)

### (1) 対象及び条件

平成30年4月以降に在籍し、部局の長等が推薦する以下の者。

学術交流協定校出身の私費外国人のうち、ダブルディグリープログラム、ジョイントプログラム、「食の安全」プログラムを含む、大学が推進する特別なプログラムによる学生。ただし、独立行政法人 日本学生支援機構の「海外留学支援制度（協定受入れ）による短期留学生」及び他の団体から月額6万円以上の奨学金等を受けることが決定している者は除きます。

また、本基金の外国人留学生奨学援助事業 (A) との併給不可。

### (2) 支給額

月額6万円

### (3) 支給期間

1年以内

### (4) 募集人員

3名

### (5) 募集期間

平成30年1月4日（木）～平成30年1月15日（月）

### (6) 申請書等

外国人留学生奨学援助事業 (B) 申請書（様式2）

### (7) 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

### (8) 報告書

本援助事業を受給した者は、受給期間終了後1ヶ月以内に実施報告書（様式6-2）を作成し、所属部局長等から学長に提出してください。3月に終了する事業については3月31日までに必ず提出してください。

### (9) その他

- ① 毎月、部局窓口で在籍確認簿（様式6-1）に署名をしたうえで、援助金の支給を受けること。ただし、母国に帰国中等で当該月内に在籍確認がとれない場合は、当該月の援助金は支給しません。
- ② 援助金支給期間中に、下記の一に該当する場合は、翌月以降の援助金は支給しません。
  - (ア) 本学の学生としての身分を失った場合
  - (イ) 病気その他の理由により、修学又は研究を継続する見込みのない場合
  - (ウ) 他の団体から、月額6万円以上の奨学金等を受けることが決定した場合
  - (エ) その他本援助金を受給する者として不適格と認められた場合

### 3) 外国人留学生奨学援助事業 (C)

#### (1) 対象となる者

平成30年4月以降本学に在籍し、部局の長等が推薦する以下の者。

- ① 本学との学術交流協定に基づき、海外の大学に在籍したまま1年以内の期間受け入れる特別聴講学生・特別研究学生
- ② 本学が海外教育研究交流拠点及び重点地域と位置づけた協定校に在籍する者

※ 重点地域とは、香川大学が国際戦略上のメインターゲットとする「ASEAN+中国、韓国、台湾」を言う。

(2) 支給額 月額30,000円以内

(3) 支給期間 1月期 平成30年4月から平成31年3月までの1年間  
7月期 平成30年10月から平成31年9月までの1年間

(4) 募集人員 1月期 3人程度  
7月期 3人程度

(5) 募集期間 1月期 平成30年1月4日(木)～平成30年1月15日(月)  
7月期 平成30年7月2日(月)～平成30年7月13日(金)

(6) 申請書等 外国人留学生奨学援助事業(C)申請書(様式3)

(7) 選考方法 香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(8) 報告書 本援助事業を受給した者は、受給期間終了後1ヶ月以内に実施報告書(様式6-2)を作成し、3月31日までに所属部局長等から学長に提出してください。

#### (9) その他

- ① 毎月、部局窓口で在籍確認簿(様式6-1)に署名をしたうえで、援助金の支給を受けること。ただし、母国に帰国中等で当該月内に在籍確認がとれない場合は、当該月の援助金は支給しません。
- ② 援助金支給期間中に、下記の一に該当する場合は、翌月以降の援助金は支給しません。
  - (ア) 本学の学生としての身分を失った場合
  - (イ) 病気その他の理由により、修学又は研究を継続する見込みのない場合
  - (ウ) 他の団体から、月額3万円以上の奨学金等を受けることが決定した場合
  - (エ) その他本援助金を受給する者として不適格と認められた場合

③ 1月期に何らかの理由で不採択になった者が7月期に再申請する場合、4月に遡って支給することはできません。

#### 4) 外国人留学生奨学援助事業 (D)

(大学推薦 (一般枠) 大学が旅費を負担する者の渡日旅費)

##### (1) 対象となる者

平成30年度大学推薦による国費外国人留学生 (研究留学生) の一般枠推薦者のうち、大学が旅費を負担する者として採用された者。文部科学省高等教育局長による決定通知に基づいた採否一覧によるものとします。

(2) 支給額 文部科学省の渡日旅費支給に準じます。

##### (3) 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

## 2. 外国へ留学する学生援助事業

### (1) 対象となる者

(A) 平成30年度に外国の大学等へ留学する本学の学生で次の各号の一に該当し、部局の長等が推薦する者（ただし、学期のはじまりが平成30年1月以降の大学においては、当該事業の対象とする）

- ① 学部 に在籍している者で、3ヶ月（1クオータ相当）以上留学する者  
ただし、期間は月単位とし、日数は切り捨てるものとする。なお、大学等での在学期間を留学期間とし、移動日は含まない。
- ② 大学院（地域マネジメント研究科及び愛媛大学大学院連合農学研究科を含む）に在学している者
- ③ その他前号に準ずる者

(B) ダブルディグリー、ジョイントプログラムにより外国の大学へ留学する学生で、部局の長等が推薦する者

### (2) 支給額

(A) 準備金60,000円+30,000円/月

(B) 準備金60,000円+40,000円/月

### (2) 募集人員

(A) 1月期 8人程度

5月期 8人程度

(B) 2人

### (4) 募集期間

(A) 1月期 平成30年1月9日（火）～平成30年1月19日（金）

5月期 平成30年5月1日（火）～平成30年5月15日（火）

(B) 上記（A）の1月期に同じ

### (5) 申請書等

外国へ留学する学生援助事業申請書（様式4）

以下の書類を添付してください。

- ① 相手大学等との受入についての交渉状況が分かるもの（ない場合はその理由）
  - ・私費で留学する場合には、相手大学の承認を示すもの
  - ・交流協定校及び交流実績のある大学等へ留学する場合には、相手大学と本学部局等の承認を示すもの
- ② 本学学部及び大学院の直近の成績表
- ③ TOEIC 公式認定証等当該国言語のコミュニケーション能力を示す書類があれば、その写し
- ④ 交流協定校ではないが交流実績のある大学等へ留学する場合、交流実績を示す書類

### (6) 選考方法

(A) 書類選考と15分ほどの面接を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。面接については、別途通知します。

(B) 書類選考を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

## (7) 報告書

本援助事業を受給した者は、留学期間終了後1ヶ月以内に実施報告書（様式6-3、6-4）及び経費支出報告書（様式6-6）を作成し、所属部局長等から学長に実施報告書を提出してください。

## (8) その他

他団体等から留学のための奨学金（調査及び研究補助等による報酬含む。）を受ける際には、その平均月額が2万円を超えないこと。超える場合は併給を認めません。

また、海外の語学学校への留学（語学研修を含む）は、本事業の対象にはなりません。

本援助事業を受給した本学学生は、香川大学インターナショナルオフィス等の依頼に応じて、海外留学フェア等で帰国報告を行ってください。

インターナショナルオフィスが指定する海外旅行保険に加入すること。

渡航前に本学が開催する海外危機管理セミナーに必ず出席すること。

準備金は申請時にすでに渡航している学生には支給されません。

(A)の1月期に何らかの理由で不採択になった者が5月期に再申請する場合、準備金及び再申請前の留学期間分は支給することはできません。



### 3. その他国際交流援助事業

#### 1) 本学学生の外国における学会発表・調査研究援助事業

##### (1) 対象となる者

外国において、優れた学会発表・調査研究等をする本学の学生で次の各号の一に該当し、部局の長等が推薦する者

- ① 学部の学生で、3年次以上に在学している者
- ② 大学院（地域マネジメント研究科及び愛媛大学大学院連合農学研究科を含む）に在学している者
- ③ その他前号に準ずる者

##### (2) 支給額

奨学金として5万円以内を支給します。

##### (3) 募集人員

4人程度

##### (4) 募集期間

平成30年5月25日(金)～平成30年6月8日(金)

##### (5) 申請書等

本学学生の外国における学会発表・調査研究等援助事業申請書（様式5）  
海外渡航先における、学会発表・調査研究等に関する資料（発表要旨等）、発表する学会等の概要が分かる資料を添付すること。

##### (6) 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

##### (7) 報告書

本援助事業を受給した場合は、受給期間終了後1ヶ月以内に、申請者及び派遣学生は、それぞれ実施報告書（様式6-5）を、申請者については経費支出報告書（様式6-6）を作成し、所属部局長等から学長に提出してください。

##### (8) その他

援助事業の対象期間は平成30年4月1日～平成31年3月31日とし、申請時に既に、学会発表・調査研究等が終了している者も対象とします。

一人の教員が推薦できるのは3名程度とします。

また、本援助事業を受給した本学学生は、香川大学インターナショナルオフィス等の依頼に応じて、海外留学フェア等で帰国報告を行ってください。

インターナショナルオフィスが指定する海外旅行保険に加入すること。

(様式1)

平成30年度香川大学グローバル人材育成特定基金(外国人留学生奨学援助事業(A))  
及び私費外国人留学生対象民間奨学金等申請書

年 月 日

所属 \_\_\_\_\_ □学部 □研究科  
□学部 □修士 □博士 \_\_\_\_\_年 □研究生

※平成30年4月の時点での所属を記入してください。

在籍期間 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 ~ \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

氏名 \_\_\_\_\_ フリガナ \_\_\_\_\_

学籍番号 \_\_\_\_\_ 国・地域 \_\_\_\_\_

在籍期間 \_\_\_\_\_平成 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月まで

○申請する奨学金 (どちらか一方の□にチェックをしてください。)

□ 応募資格がある奨学金については、全て応募します。

□ 応募資格を考慮したうえで、下にチェックをした奨学金に応募します。

※この場合、チェックした奨学金以外の奨学金には応募しないものとみなします。

- 香川大学グローバル人材育成特定基金外国人留学生奨学援助事業(A)
- ドコモ留学生奨学金
- 文部科学省 外国人留学生学習奨励費
- 公益財団法人倉岡奨学会奨学金

1. 1ヶ月の平均収入(配偶者の収入も含む。)を記入してください。

事項	申請者本人	配偶者
仕送り額(A)	_____円	_____円
アルバイト等の収入(B)	_____円	_____円
平成29年度(2017年度)に 受給した奨学金(C)	奨学金名 _____	奨学金名 _____
	受給期間 _____年 _____月~ _____年 _____月	受給期間 _____年 _____月~ _____年 _____月
1ヶ月の平均収入(=A+B+C)	_____円	_____円

※預貯金は上記に該当しません。

2. 研究論文・取得した資格について記入してください。

※研究論文・取得した資格とともに証拠となる書類を提出しなければ、選考の対象とはなりません。

研究論文 \_\_\_\_\_ 編

※・申請時より5年以内の論文を対象とします。

- ・ファーストオーサーとして、査読付きの学術雑誌に掲載または査読付きの学会で発表した論文に限ります。
- ・別紙「研究業績一覧」を提出してください。また、論文タイトル・国際学術雑誌及び国際学会名・発行年・掲載ページ・著者・要旨が分かる書類を添付してください。(論文全文を提出する必要はありません。また、一度提出したものは再度提出する必要はありません。)添付がなければ、選考の対象とはなりません。

TOEFL (IBT、CBT、PBT) \_\_\_\_\_ 点

TOEIC \_\_\_\_\_ 点

IELTS \_\_\_\_\_ 点

日本語能力試験 \_\_\_\_\_ 級 または N \_\_\_\_\_ 合格 総合点 \_\_\_\_\_ 点

J.TEST \_\_\_\_\_ 級 \_\_\_\_\_ 点

ビジネス日本語能力テスト (J3、J2、J1、J1+)

※資格 (TOEFL、TOEIC、日本語能力試験など) の点数が記載している合格通知書を窓口を持参してください。その場で写しを取り、本紙は返却します。点数が分かる書類を提出しなければ、選考の対象とはなりません。

以上のことについて、相違ありません。

また、以下の事項についても了承いたします。

※以下の事項を確認したうえで、にチェックをし、署名してください。

- 申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、大学において懲戒処分を受けた場合等により、各奨学金支給団体からの奨学金の支給が取り消されても、不服は申し立てられません。
- 本学での選考結果に関して、申請者に対しては推薦の可否以外については一切公表しません。

氏 名 \_\_\_\_\_

(自筆署名)

## 指導教員の所見

年 月 日

1. 申請者氏名 \_\_\_\_\_

2. 申請者の学修状況について

(例) 授業や研究室への出席状況、単位の修得状況、標準修業年限で卒業・修了見込みかどうか

3. 申請者の経済状況について（申請者及びその家族（配偶者）の合計収入月額が10万円を越える場合は、収入が多いにも関わらず奨学金が必要である事由について、詳細を記載して下さい。）


4. 申請者の人柄について


5. 自由記述


6. 日本語力（要件で日本語力を要求された場合に参照します。以下の目安が日本語で可能かどうか○を記してください。）

以下に記した内容が ほぼ問題なくできる(N1) ・ 何とかできる(N2) ・ できない(N3以下)

大学の行事案内などのお知らせを読んで、集合時間、場所などがわかる。／趣味や週末の予定について会話ができる。／

日常的な指示を聞いて、何をすべきか理解できる。／（一般的な、専門以外の）ディスカッションで、相手の意見に賛成か反対かを理由とともに述べるができる。／準備をしていれば、フォーマルな場で短いスピーチや、専門についての発表をすることができる。／その際の質疑応答もできる。

注) 本所見が事実と相違する場合、推薦を取り消すことがあります。以後、申請を認めないこともありますので、事実に基づき記載願います。

本所見は、応募要件を満たし、推薦に足る人物であるかを適正に判断するため、客観的視点に基づいて作成したものであることを証明します。

指導教員

所属学部等名 \_\_\_\_\_ 学部・研究科 \_\_\_\_\_ 氏 名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

注：厳封されたもののみ有効

(署名または記名押印)

(様式2)

平成30年度外国人留学生奨学援助事業(B)申請書

香川大学長 殿

推薦者 所属・職名 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

下記のとおり、外国人留学生奨学援助事業(B) (正規課程の私費外国人留学生 (ダブルディグリープログラム、ジョイントプログラム、「食の安全」プログラム等) のための奨学金) に推薦します。

記

フリガナ 留学生氏名 (ローマ字)		性 別	* 男 ・ 女	生年月日	19 年 月 日生
漢 字 名				国 籍 地 域	
受入学部 (研究科) 学科・課程 (専攻)	* 学 部 学 科 ・ 課 程 年 研究科 専攻 特別聴講学生・特別研究学生 ダブルディグリープログラム・ジョイントプログラム・「食の安全」プログラム・その他のプログラム ( )				
留 学 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 ( 年 ・ ケ月)				
本国での在籍 (出身) 大学					
推薦理由					
部局長の推薦順位 (2名以上推薦する場合は推薦順位をつけて下さい)				推薦順位	位

- (注) 1. \*印の箇所は、該当のものを○で囲むこと。  
2. 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

(様式3)

平成30年度外国人留学生奨学援助事業(C)申請書

香川大学長 殿

推薦者 所属・職名 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

下記のとおり、外国人留学生奨学援助事業(C)に推薦します。

記

フリガナ 留学生氏名(ローマ字)		性	* 男・女	生年月日	19 年 月 日生
漢 字 名		別		国 籍 地 域	
受入学部(研究科) 学科・課程(専攻)	* 学 部 学 科・課 程 年 研 究 科 専 攻 特別聴講学生・特別研究学生				
留 学 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 ( 年・ヶ月)				
本国での在籍(出身)大学					
推薦理由					
部局長の推薦順位(2名以上推薦する場合は推薦順位をつけて下さい)	推薦順位				位

(注) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

平成30年度外国へ留学する学生援助事業申請書

平成 年 月 日

香川大学長 殿

推薦者 所属・職名 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ 印

下記のとおり、外国へ留学する学生援助事業に、学生を推薦します。

記

【指導教員記入欄】

留学を希望する 学生の名 学籍番号		性別	* 男・女	生年月日	* 昭和 平成	年 月 日 生
所属学部 (研究科) 学科・課程 (専攻)	* 学部 研究科 (修士・博士)	学科・課程 専攻		年 次		
留 学 の 目 的	申請内容 (A)・(B) いずれかに○をつけてください。					
留学を希望する期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 ( 月)	留学の承認	* 既・未			
留学先大学等名 (学部・学科・ コース) (所在地)		交流実績	* 有・無			
留学先での勉学・研究計画の概要						
留学により期待される成果						
渡航に要する経費						
航空賃： 千円 滞在費： 千円 授業料等： 千円						
他の資金等への申請状況 (申請予定のものを含む。)						
資金等の名称：						
航空賃： 千円 滞在費： 千円 授業料等： 千円						
※算出方法						
成績評価係数 _____ (小数点第2位まで)						
$\frac{「秀・優の単位数」 \times 3 + 「良の単位数」 \times 2 + 「可の単位数」 \times 1 + 「不可の単位数」 \times 0}{\text{総登録単位数 (不可の単位数含む)}}$						
(原則として、本学における推薦時の前年度の成績から算出するが、前年度の成績がない場合は、推薦時の前学期分から算出するものとする。なお、前学期の成績もない場合は、直近の成績から算出するものとする。)						
(B) のみ						
部局長の推薦順位 (2名以上推薦する場合は推薦順位をつけてください。)						
推薦順位 位						

- (注) 1. \*印の箇所は、該当のものを○で囲むこと。  
 2. 留学の承認については、交流協定校及び交流実績のある大学等へ留学する場合は相手大学及び本学部局等の承認、それ以外の留学については、相手大学の承認について記載する。なお、(A)は、留学に関する相手大学等との受入についての交渉状況が判る書類等を添付する。  
 3. 交流協定校ではないが交流実績のある大学等へ留学する場合は、交流実績を示す書類を添付する。  
 4. 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。



【渡航者記入欄】

留 学 を 希 望 す る カガナ 学 生 の 氏 名 学 籍 番 号		性 別	* 男・女	生年月日	* 昭和 年 月 日 生 平成
所属学部（研究科） 学科・課程（専攻）	* 学 部 学 科 ・ 課 程 研 究 科 （ 修 士 ・ 博 士 ） 専 攻			年 次	
留 学 の 目 的	申請内容 (A)・(B) いずれかに○をつけてください。				
留学を希望する期間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 ( ヶ月)				
留学先大学等名 (学部・学科・ コース) (所在地)					
留学先での勉学・研究計画の概要					
留学により期待される成果					

(様式5)

平成30年度本学学生の外国における学会発表・調査研究等援助事業申請書

平成 年 月 日

香川大学長 殿

申請者 所属・職名 \_\_\_\_\_

(指導教員) 氏 名 \_\_\_\_\_ 印

(引率教員) 氏 名 \_\_\_\_\_ 印

(\*指導教員と異なる場合は記入して下さい)

下記のとおり、本学学生の外国における学会発表・調査研究等援助事業に、学生を推薦します。

記

○【学生本人記入欄】

フリガナ 氏 名	印	所属学部(研究科) / 学科・課程(専攻) / 年次	
海外渡航の目的			
海外渡航を希望 する期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 ( 日間)		
渡航先(学会・ 調査研究機関等) (所在地)			

海外渡航先での学会発表・調査研究の概要及び特色(これまでの研究実績との関連を明示すること。)  
(学会発表の場合 口頭・ポスター 査読の有無 有・無)

- (注) 1. 海外渡航先における、学会発表・調査研究等に関する資料(発表要旨等、6ページ以内にまとめること)、学会等の概要が分かる資料を添付のこと。  
2. 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

○【申請者記入欄】

海外渡航により期待される成果

渡航に要する経費	金額	資金名（その他に○をした場合は資金名（例：寄付金）を記載すること。）
航空賃	千円	私費 ・ その他（ ）
滞在費	千円	私費 ・ その他（ ）
その他	千円	私費 ・ その他（ ）
本資金以外への申請の有無（申請予定のものを含む。） （□にチェックをつけてください。） <input type="checkbox"/> あり （援助額 円） <input type="checkbox"/> なし （経費名 ）		
指導教員の推薦順位（2名以上推薦する場合は推薦順位をつけて下さい）		推薦順位 位

※申請者が多い場合、推薦順位が下位のものは、選考対象にならない場合があります。

平成30年度外国人留学生奨学援助事業〔(A),(B),(C)〕在籍確認簿

氏名	所属	国籍	支給額
			／月

支給月	確認日	署名
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	
平成 年 月	平成 年 月 日	

平成30年度外国人留学生奨学援助事業〔(A), (B), (C)〕実施報告書

香川大学長 殿

平成 年 月 日

研究科 専攻

受給者 所属 学部 学科

氏名 (署名)

下記のとおり報告します。

記

奨学金受給期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
受給額	奨学金 月 _____ 円 計 _____ 円
奨学金受給による成果 または 受講科目名及び単位数 (1,000字程度で 記入願います)	(教育・研究内容等にどのような成果が生じたかを具体的に記述してください。)
奨学金受給についての 効果・感想等 (1,000字程度で 記入願います)	

(注) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

平成30年度外国へ留学する学生援助事業実施報告書

香川大学長 殿

平成 年 月 日

研究科 専攻

受給者 所属 学部 学科

氏名 印

下記のとおり報告します。

記

留 学 期 間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
受 給 額	円
奨学金受給による成果 (1,000字程度で 記入願います)	(教育・研究内容等にどのような成果が生じたかを具体的に記述してください。)
奨学金受給についての 効果・感想等 (1,000字程度で 記入願います)	

(注) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

平成30年度外国へ留学する学生援助事業実施報告書

Report on Scholarship Student (2017)

受給者 所属 \_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻 \_\_\_\_\_  
学部 \_\_\_\_\_ 学科 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

留学先大学名 \_\_\_\_\_

留学先大学の指導教員所見 (留学による成果等)

Supervisor evaluation of student academic performance while studying abroad

\_\_\_\_\_年 月 日

Date

指導教員氏名 \_\_\_\_\_

Name

平成30年度国際交流事業 本学学生の外国における学会発表・調査研究援助事業報告書

平成 年 月 日

香川大学長 殿

所 属 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

下記のとおり報告します。

記

1. 渡航期間 (日程表を添付のこと。) 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
2. 事業実施による成果 (1,000字程度で記入願います。) (研究活動においてどのような効果が生じたかを具体的に記述してください。)
3. 事業実施についての効果・感想等 (1,000字程度で記入願います。)

○申請者及び派遣学生がそれぞれ作成すること

(注1) 渡航日程の分かる書類を添付のこと。(旅行命令等)

(注2) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。



## 香川大学グローバル人材育成特定基金平成30年度支出報告書

平成 年 月 日

香川大学長 殿

所属・職名 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印

以下のとおり支出状況を報告します。

○ 事業名：

○ 研究課題名

○ 支給金額：

○ 項目別支出決算表（単位：円）

経費内訳※	支出額	残額	備考
合計			

※食費、寮費、交通費、その他雑費など詳細を記載してください。